

薬事委員会記録

日 時：平成 28 年 6 月 2 日(木) 16 時 00 分

場 所：医学部 1 階 小会議室

出席者：伊藤、鶴見、西垣(和)、諏訪、吉倉、山内、早崎、田中(領)、西堀、加納、安田(満)、田辺、白上、加藤、長瀬、北川、吉田、村上、大野、酒々井、玉井、山口、安田(浩)、鈴木、小森、西垣(美)

代理出席者：二村〔2外〕

委任状提出：村瀬、荒木

欠席者：江頭、川瀬、市川、山本、田中(秀)、畠山、久保田、紀ノ定、堀川、折居

記録の承認

平成 28 年 3 月 3 日開催の薬事委員会の記録を承認した。

協議事項

1. 医薬品の採用について

12 品目（ザファテック錠 100mg、シンポニー皮下注 50mg シリンジ、ミオテクター冠血管注、デカドロン錠 4mg、ベルソムラ錠 15mg、ブイフェンドドライシロップ 2800mg、ミダフレッサ静注 0.1%、ガドビスト静注 1.0mol/L シリンジ 5mL・同 7.5mL・同 10mL、塩酸メピバカイン注シリンジ 1%「NP」、リン酸コデイン錠 5mg「ファイザー」）の採用を承認した。

2. 医薬品の継続試用について

7 品目（献血ヴェノグロブリン IH5%静注 5g/100mL、アシテアダニ舌下錠 100 単位、注射用レザフィリン 100mg、ビーエスエスプラス 500 眼灌流液 0.0184%バッグ、リユープリン PRO 注射用キット 22.5mg、アレルゲンスクラッチエキス陽性対照液「トリイ」ヒスタミン二塩酸塩、アコアラン静注用 600）の継続試用を承認した。

3. 医薬品の新規試用について

7 品目（メプチン吸入液ユニット 0.5mL 0.01%、ハラヴェン静注 1mg、リユープロレリン酢酸塩注射用キット 1.88mg「あすか」、ジオクチルソジウムスルホサクシネート耳下用液 5%「CEO」、ワントラム錠 100mg、ハイカムチン注射用 1.1mg、ピコスルファート Na 錠 2.5mg「サワイ」）について、申請診療科および薬剤部より説明された後、新規試用の承認可否について投票を実施した。その結果、メプチン吸入液ユニット 0.5mL 0.01%とハイカムチン注射用 1.1mg を除く 5 品目について承認した。メプチン吸入液ユニット 0.5mL 0.01%については該当診療科に確認の上、院外採用薬品と同規格の 0.3mL 製剤を新規試用とすることとした。また、ハイカムチン注射用 1.1mg については供給停止の問題があるため、保留とした。

4. 医薬品の採用中止について

7 品目（オゼックス細粒小児用 15%、カレトラ配合錠、プロノン錠 150mg、へパン ED 配合内用剤、アンペック坐剤 20mg、フォリスチム注 600IU カートリッジ、リユープリン注射用キット 1.88mg）の採用中止を承認した。

報告事項

1. 院外採用医薬品に関する薬事委員会 WG での決定事項

①医薬品の院外採用について

2 品目（ピートルチュアブル錠 250mg、スピオルトレスピマット 28 吸入）の院外採用

を報告した。

②医薬品の採用中止について

4 品目（キックリンカプセル 250mg、ホスレノールチュアブル錠 250mg、ダラシン T ローション 1%、メプチンスイングヘラー10 μ g 吸入 100 回）の院外採用中止を報告した。

2. 採用変更医薬品について

1 品目（アザニン錠 50mg）の採用変更を報告した。

3. 販売中止医薬品について

3 品目（エビプロスタット配合錠 SG、プロヘパール配合錠、エコリシン点眼液）の製剤販売中止を報告した。

4. 緊急購入医薬品の登録について

17 品目（ポマリストカプセル 1mg・2mg・3mg・4mg、ムルプレタ錠 3mg、オフエブカプセル 100mg・同 150mg、オブジーボ点滴静注 20mg・同 100mg、カナグル錠、ライゾデグ配合注フレックスタッチ、ミオテクター冠血管注、サビーン点滴静注用 500mg、ヤーボイ点滴静注液 50mg、エビリファイ持続性水懸筋注用 400mg、臭化カリウム「ヤマゼン」、ビオチン・ドライシロップ 0.1%「ホエイ」）の緊急購入の登録を報告した。

5. 新規採用検査医薬品について

1 品目（パッチテストパネル（S））の新規採用を報告した。

その他

1. 人免疫グロブリン製剤の供給停止に伴う代替製剤の一時採用について

神経内科疾患等の特定の製品のみに適応が限定されているグロブリン製剤を必要とする患者へ供給ができるようにするため、献血ベニロン-I の供給が回復するまでの間に限り、献血ポリグロビン N5% 静注 5g/100mL を一時的に仮採用することとした。

2. 院外処方せんへの検査値等の掲載開始について

院外処方せんへの検査値、身体情報、診療情報等の掲載が開始されると報告した。

3. 医薬品の安全使用のための業務手順書の改訂について

医薬品の安全使用のための業務手順書に医薬品の保険適応外・禁忌使用について追記するとの説明がされ、承認された。

4. 院内特殊製剤の調製状況及び使用状況について

平成 27 年度の院内特殊製剤の調製状況及び使用状況について報告された。

次回薬事委員会の開催日時は、平成 28 年 9 月 1 日（木）とした。